

# 平成3年度 全国曹洞宗青年会総会開催



## 新会長に 木南広峰君



▲評議員会



▲総会

発行所  
全国曹洞宗青年会  
〒105 東京都港区  
2-5-2 曹洞宗宗務庁内  
発行責任者 木南広峰  
TEL03-3454-5411F0

青年僧侶のエネルギーを結集しよう  
社会的価値ある活動をしよう  
青年僧侶の自覚を促そう  
地域における活動の連携を深めよう

### 第九期執行部発足

#### 目次

総会特集	1
総会特集	2
総会資料	4

去る五月二十三日午後二時、宗務庁に於いて全国曹洞宗青年会総会が開催された。当日は十二時より理事会、午後一時より評議員会として午後三時より総会の日程が進められた。

総会には全国より百名を超える会員が参加した。

伊藤道宣会長を導師に本尊上供が行われその後平成3年度総会が開催された。会長挨拶に続き、議事審議に移った。平成2年度事業並びに会計報告が各委員長等より行われ審議に移った。議案承認後、今回の総会における最重要の議題である第9期執行部の選任作業に移行した。会長の選出に関しては規約細則第3号にもとづき先に選考委員会が開催されていた。選考委員会よりこれまでの選考経過が説明された後、第9期会長に木南広峰君(静



▲禅のつどい研修会

岡県)副会長に小原宣弘君(茨城県)吉川俊雄君(山口県)平清水公宣君(山形県)が紹介され、満場の拍手で承認された。新会長に就任した木南新会長は第9期新執行部役員を紹介した後、会長に当たっての所信表明を行った。(内容に関しては次項)

総会後、場所を研修道場に移して「禅の集い中央研修会」が開催された。今回は、福島大学教育学部助教、白石豊先生を講師に招き、「ヨーガと自己発見」と題して講演を頂いた。会員は禅とヨーガに関して又、心理学との関連の興味深い話にメモを取りながら熱心に聞き入っていた。

当日は総会と同時に別室にて曹青OB会である「龍象会」の総会も開催され、平成3年度の活動等に関して審議が行われた。

五時より行われた懇親会の席では現役OB混じりの和やかな雰囲気の中で旧交を温めると共にこれからの曹青活動に関して熱心な意見交換が交わされていた。翌二十四日、午前九時宗務庁出発で池上本門寺の見学が行われた。

### 破草鞋

時代は、社会は今転機を迎えている。湾岸問題を国際社会の再編成。国内に目を向けてもバブルが弾けて経済界は泡食って右往左往一攫千金を夢見た一般投資家も一夜の夢と消えた。自然界も異常気象を始めとして火山の噴火など各地で被害をもたらしている。

しかし現在、全世界の国民の喉元に匕首を突きつけられている問題がある。それは環境問題だ。これは単に経済と自然環境との対立の図式で済む問題でなく一人一人の自覚、更に心の問題とも言える。一気に解決する方法など何もないが、何もしなければ悪化するだけである。社会に働きかける一方で自分自身が自然の中で生かされている事を自覚し一杯の水、一枚の紙も決して無駄にしない心を持たねばならない。そして我々宗教家は命の尊さ、物の大事さ、有り難さを自覚するよう説いていく義務がある。今、モノよりこころの豊かさの時代」というフレーズがあたかも企業のイメージアップの様に一人歩きし空回りしているようである。しかし消費を前提とした企業倫理の前にはどこまで期待できるだろうか？

全国曹青会執行部が一新した社会が今ほど心の問題―宗教を必要としている時代はない。日本では欧米ほど行為規範としての宗教は社会的に機能していなかった。だからこそ現在我々宗侶が生きているための仏教を説かねばならないのである。冷静な判断と溢れる熱意で社会に働きかけて欲しい。全国曹青に期待する。



所信表明を行う木南会長



木南広峰新会長

# 生きるための仏教 生きる支えとしての仏教

総会所信表明より

短歌の世界で有名な斎藤茂吉の作品に、「円柱の下 若き僧のゆくあり」という歌があります。これらいろいろのことあるらん」といふ歌があります。

円い大きな柱の下を若い僧が静かに歩いている。この青年僧にとつてもこれから先いろいろな難しい事情に出会わねばならないのであるという、理解と同情と励ましが籠められている歌だと思ふのです。

全曹青発足以来十六年を過ぎ、全国青年宗信員加盟を目前に控え、宗門を問わず今程、本会の活動及び存在そのものが注目されている時があります。これも一重に歴代会長並びに、先輩会員諸師の御尽力の賜物と深く敬意を表するものであります。

発足当時の先輩諸師の、産みの苦しみと組織維持発展への努力と積極且つ充実した活動には目を見張るばかりであり、禅文化学林の実施、全国一斉鉢鉢運動、禅の集い研修会、団体加入の導入、東大寺千僧法要、会則改正等々、改めて興奮を覚える次第であります。

しかしながら、二十周年へ向けて歩み続ける全曹青は、斎藤茂吉の歌の若き僧の如く、これらいろいろの困難な事柄に出会わねばなりません。

この重要な時期に、全国曹洞宗青年会を執行させて戴きまことに重大な責任を痛感致しております。

我が全曹青の基本課題は「大衆教化の接点を求めて」であります。この布教・教化の原点に立ち返る意味からも、二年間の時間をかけて「生きるための仏教、生きる支えとしての仏教」を全面に打ち出し、「理事としての仏教法要」ではなく、「慶事としての仏教法要」を考えて見たいのであります。

具体的には第一に「花まつり」の実施であります。釈尊降誕会を「花まつり」と名付けた奥には、花咲翁さんが灰をまいて枯木に花を咲かせたように、釈尊は、生きる自信をなくした人々の心に、教えの灰をまいて心に花を咲かせたのです。「花咲翁さんお釈迦さま」とも呼びましようか。「天上天下唯我独尊」「乾坤只一人」一人一人に純粋な人間性が恵まれている人間の尊さを訴え、天地の中がかげがえのないたった一人の尊い存在である事実を確認していきたいのです。

第二に「仏前結婚式」の発行であります。美しい心と心の出会い。それは決して偶然ではなく私達の思いもおよばぬ大きなはからいと、深い縁（えにし）によるものです。心の通う儀式は、参列者の胸にも響き仏心と呼びましまし、やがては入信の好因縁ともなるであります。大事な布教教化の場ともいえるのです。したがって限られた一部の人々だけでなく、ひろく一般にも法悦を与え、これを機会に仏縁をむすばせるように努めていきたいのです。

これら「花まつり」と「仏前結婚式」をアピールすることにより、理事ではなく慶事の法要に人々が集まることとなり、原点的に布教教化の原点に返るひとつの方法だと考えます。原点的に返るという点におきましては、全国リレー鉢鉢も充分のを得ているように思われます。特に今回は「街に出よう 花まつり」運動と関連させて展開していきたいと考えております。

更に「禅へのいざない」に続き、より初歩的な高校の副読本として使用出来るような入門書の作成、全国ソフトボール大会の継続実施、未加盟団体の積極的加入と未結成地区への結成協力、情報誌としての曹青通信の発行と紙面の充実、二十周年へ向けての準備委員会の設立等々、積極的な活動を考えております。

第八期に広報委員長として執行部の末席に有りました私は、曹青通信校正の為、各地から寄せられる原稿を何度も読み返す機会に恵まれました。そしてそこには何時も「原稿はどこか?」「本物はどれか?」という会員の探求が有った様に思

ます。また、十五周年記念誌「好堅樹」編集に当たり、過去の素晴らしい情熱と全曹青の重要性を感じ、先輩諸師が丹精込めて育てて来た感を深く致しました。

◎「千歳老松」これは長寿のめでたさをなぞられる祝語として良く用いられるのですが、本来は永遠に変わらぬ真理の象徴としての言葉であります。茶器や華器などの道具は、高価な新品よりも古い年代の作品が珍重されます。さびの生じやすい茶釜にさび一つないのは丹精の賜物であり、割れやすい花瓶に欠けさび一つないのは丹精の賜物であります。どんなに昔の古い銘品でも、さびだらけの茶釜や水洩りのする花瓶には存在の意味がなく、古いだけが値打ちではありません。丹精の努力が尊ばれるのであります。人生も丹精にあると同様に、会組織運営も丹精にあると思ふのです。

◎千歳老松 せんさいのろうしよ 千年も生き長らえた古い松

一昨年、山口県の萩市を訪れた際、日本海の海岸を観光させていただきました。太平洋沿岸と異なる風光から受けた印象は鮮烈なものでした。日本海は晩秋から冬にかけて風波の強い日が続く、海の荒れている日は車の屋根まで海水をかぶるそうです。

そのような海中の小島の岩の山に、土も肥料も少ないのに幹の細い松がしっかりと生えておりました。風に運ばれた松の種がそこに根付いて育ったのであります。険しくそびえる岩に松を栽えるとは、岩や松に限らず、蛾々としたわびしい人の心の中に、教えの種をおろすことであり、亭々とそびえる大松も、もとをたせば一粒の種であります。岩に松を栽えるのです。しかし、数百年後の生い茂る松樹の真つ盛りを、種を時き丹精込めて育てて来た人は楽しむことができせん。

何ごとによらず「育てる」「相続する」ということは果てしない誓願の実践そのもので有ると思ふのです。

第九期執行にあたり、先輩諸師が丹精込めて運営・活動を続けて来た青年会への思いを受け継ぎ、二十周年、いや、二十一世紀へ向けての布石としての役割を果たさんと意を強く致しております。

歴代の会長諸師は、それぞれ剛速球の持ち主であり、巧みな変化球の持ち主であり、絶妙なコントロールの持ち主でありました。

しかし、私には剛速球も変化球もコントロールもありません。ただただ会員諸師を信頼し、全曹青のマウンドで一球一球を丁寧かつ慎重に、二年間のイニングを完投致したいと思っております。願わくはリリーフをおおごことなく、投げ抜けよう精進努力を致していく所存であります。

開祖道元禪師は「正法眼蔵・現成公案」の中に「身心に法いまだ参飽せざるには、法すでにたれりとおぼゆ。法もし身心に充足すれば、ひとかたはたららずとおぼゆなり」とお示しであります。

また、故山田禪師は、青年会活動に対して「混迷を救う浄行であるから、まことの道心をもって無上道を行じて頂きたい」と励まして下さいました。

第九期、役員一同は、このお示しと策励を肝に銘じ、過去十六年の貴重な活動を継承し、重要な使命を背負っている事を今一度再認識し、謙虚に無限の求道心を持ち続け、責任を全うしていく決意でありますので、全員諸師にはより一層の御理解を頂き、絶大なる御支援と御協力を賜りますよう、お願い、御挨拶と致します。 合掌

※「よく生きるとは、今よくないと気がつくこと」

## 第九期全国曹洞宗青年会役員

会 長	木南 広峰	421-02	高福寺 TEL 054(622) 2465	FAX 同上
副 会 長	吉川 俊雄	759-64	白善院 TEL 054(628) 4205	FAX 同上
副 会 長	小原 宜弘	310	茨城県水戸市八幡町11-6	FAX 同上
副 会 長	清水 公宣	990	祇園寺 TEL 0292(21) 5229	FAX 同上
事務局長	田中 良宗	069-13	山口県豊浦郡豊浦町黒井1785	FAX 同上
事務局長	武藤 英明	427	飯倉寺 TEL 0837(72) 1798	FAX 同上
事務局長	鯨岡 宏智	319-13	山形県山形市平清水247	FAX 同上
事務局長	哲元	857	万松寺 TEL 0236(23) 0208	FAX 同上
事務局長	二瓶 法道	957	北海道夕張郡長沼町本町区	FAX 同上
事務局長	時 準雄	981-32	良昭寺 TEL 01238(8) 2177	FAX 同上
事務局長	鎌原 泰彦	543	静岡県島田市稲荷3-11-17	FAX 同上
事務局長	朝日 耕道	518-03	松風軒 TEL 0547(36) 1837	FAX 同上
事務局長	中山 義紹	860	長久寺 TEL 054(624) 5396	FAX 同上
事務局長	朝日 耕道	518-03	茨城県多賀郡十王町友部1782	FAX 同上
事務局長	朝日 耕道	518-03	東泉寺 TEL 0293(32) 2052	FAX 同上
事務局長	朝日 耕道	518-03	長崎県佐世保市大宮町30-27	FAX 同上
事務局長	朝日 耕道	518-03	護国寺 TEL 0956(31) 1788	FAX 同上
事務局長	朝日 耕道	518-03	新潟県新発田市上中山甲877	FAX 同上
事務局長	朝日 耕道	518-03	清光寺 TEL 0254(32) 2527	FAX 同上
事務局長	朝日 耕道	518-03	宮城県仙台市泉区根白石町西上27	FAX 同上
事務局長	朝日 耕道	518-03	満興寺 TEL 022(379) 2137	FAX 同上
事務局長	朝日 耕道	518-03	大阪府大阪市天王寺区夕陽ヶ丘1-18	FAX 同上
事務局長	朝日 耕道	518-03	梅旧院 TEL 06(771) 1667	FAX 同上
事務局長	朝日 耕道	518-03	三重県名賀郡青山町露生2559	FAX 同上
事務局長	朝日 耕道	518-03	天照寺 TEL 05955(4) 1755	FAX 同上
事務局長	朝日 耕道	518-03	熊本県熊本市高平2丁目20-35	FAX 同上
事務局長	朝日 耕道	518-03	浄国寺 TEL 096(344) 7603	FAX 同上

# 退任に あたり

## 全国曹洞宗青年会 第八期会長 伊藤道宜



全国曹洞宗青年会第八期の執行を終了させて戴くに当たり先似て、会員諸兄の絶大なる御協力、御理解に対し、衷心より御礼申し上げます。

思えば四年前、神野第七期会長の下、事務局次長として、聊なりとも御役に立てればと思ひ私なりに努めさせて頂いたつもりでした。第七期終了と共に、御役会長指名。引き際を失った私に、重くのしかかったものは、第七期準備会の席上副会長候補で有りました我妻耕道先輩が言われました。「ビジョンなき指導者は去れ・・・。」と言う言葉でした。御役放免のつもりで居りました私に、「ビジョンなど有ろう筈もなく、限られた短い時間の中で考え出された第八期のテーマは、「青年僧侶の自覚を促そう」でした。このテーマの根底には、発足十五周年を迎えようとしていた全曹青が価値観の多用化の中、あらためて「全曹青とは何ぞや・・・。」と言う事を再確認する必要があると言う考えが有りました。

第八期を終了させて頂く今日、この問題に対して、明確な答えが出せた訳では有りません。しかしこの二年間に第八期執行部が感じた事は、従来通り全曹青が「連絡協議会の連絡協議会」としての立場だけでは、とても現代社会のニーズに追いつけないと言う事です。これは決して従来の全曹青の立場を否定するものには有りません。

例えば昨今の雲仙の災害に対して、長崎曹青が全曹青に対し救援を要請し全曹青はそれに応えて、全国の単位曹青に呼びかけ、各単位が直接、法友長崎曹青に援助救済すると言う活動方式は、全曹青の「連絡協議会の連絡協議会」としての立派な組織活動だと思えます。但し、全曹青が「連絡協議会の連絡協議会」としての立場を貫くので有るならば、全曹青は、受要請窓口で有り、受援窓口はあくまでも長崎曹青に置くべきだと思います。

反面全曹青は、唯一宗制で認められた青年会として、毎年本庁より会費の十倍にも及ぶ助成を受けて居ります。殆どをこの助成金で賄う予算の中から、全曹青は各管区大会及び各単位曹青周年記念大会の助成を有るので有ります。更に全曹青の最高議決機関は、各単位曹青から選出された評議員による会議で有りません。つまり全曹青は、すべてに包括団体としての組織を完成させているので有ります。そしてこの組織なくして、全国的視野に立った活動は不可能で有り、又宗門外の団体との交渉を受け持つ組織として絶対に必要なので有ります。すでに世界最大の有僧籍者青年会である全曹青に對する内外の期待は、膨大なものが有り、これから先、全曹青がリーダーとして受けなければならぬ仕事は、どれ程有るか知れません。今の内に全曹青が、包括団体としての組織力を持たなければ、対外的に恥をかく団体でしなくなってしまう。外的事よりも内的事・・・。」

当然の発想かも知れません。しかし我々の恥は曹洞宗の恥、延ては洞門歴祖の恥との自覚の上に立てば、対外的なより確実な強固な組織造りは、我々の急務ではないでしょうか。

冒頭に申し上げました様に第八期は、会員諸兄の絶大なる御協力、御理解によりまして、無事終了させて頂きました。しかし一部に「全曹青は勝手にやっていた・・・。」との御意見も頂戴いたしました。確かに私共の不行き届きから、色々御迷惑を御懸けした事と存じます。ここに深く御詫び申し上げます。しかしながら往々にして、その御意見の出る地域の会議に於ける出席率は、極めて低いのであります。どんなに会員の少ない団体であっても、誰も代理をたてられないと言う事は、考えられない事です。全曹青に魅力がない・・・。」と言うのが理由なのではないでしょうか。しかし魅力ある全曹青を造る為の会議に御出席戴かなければ、永久にこの問題は解決致しません。会議に於て意見を述べ、時には激論を戦わせ、その上の決議事項にはたとえ不満であっても遵守すると言うのが、民主主義の根本姿勢ではなかったでしょうか。価値ある会議の為に、嘘え全曹青の予算が破綻をきたしたとしても、それは明日の全曹青の為、決して恥べき事ではないと思えます。

退任に当たり、全曹青第九期木南執行部がそうした熱き会議を繰り返し、一層飛躍を遂げられる事を祈念して止みませぬ。微力ながら一会員として協力させて頂く事を誓います。

曹青通信はこれまでに「我が曹青を語る」「此処に和尚あり」等、各単位曹青より様々な情報を掲載してまいりました。しかし、団体加盟も進み、各地より「我が曹青では今の様なユニークな事業に取り組んでいるのだが取り上げてくれないか?」とか「こういう出版事業を行って曹青はないのですか」という声も多々聞かれるようになって参りました。広報委員会として各地の活動を出来るだけ追って伝えようと努力は続けて居るのですが各単位曹青の活動も、より活性化してきつつある今、広報委員会だけではフォローできないのが現状です。それならば、取材活動の一方、曹青通信の紙上をより開放して各単位曹青の情報交換の場として使って戴ければと考えました。データベース、伝言板、どんな使い方も結構です。例えば「今度、我が〇〇曹青ではカレンダー開発したが、かなり良い物が出来たので他県にお分けしてもよいので連絡を待つ」でも「現在曹青の活動に於いて〇〇の理由で困っているのを知恵を拝借したい」でも「〇〇管区曹青では今度大きなイベントを行うので他地域の方も是非、ご参加下さい」等々、何でもかまいません。他の委員会とも連携してフォローすべきはフォローし、プッシュすべきはプッシュして全国の曹青会の活動の活性化の一助になることを願っています。

## 雲仙普賢岳噴火 災害救援のお願い

新聞・テレビ等の報道によって会員諸兄もご承知の事と存じますが、雲仙普賢岳の噴火に伴う火砕流・土石流の被害は島原市周辺広範囲に渡りかなり長期化の様相を見せています。体育館等の避難所での生活も数ヶ月以上に及び住民の疲労も心身に極限状態になっている様です。各単位曹青においても救援鉢鉢などの募金活動を実施させている団体もあり、全国曹青として募金活動若しくは、窓口としての口座等は設けていないのかという問い合わせも有りました。

六月二十五日付けで長崎曹青会長より雲仙火山災害義援金の要請が有りました。全国曹青会としては独自の救援活動を行うのではなく長崎曹青のこの活動を全面的に応援協力することに致しました。会員諸兄のご支援をこの紙上を通して心よりお願い申し上げます。

## 雲仙火山災害義捐金のおお願い

全曹青会会長殿

長崎県曹青会会長

前略 全国曹青会におかれまして益々ご活躍のことと存じます。

さて、ご存じのように、今般の雲仙火山災害は、島原市、深江町地区等に多くの被害を及ぼし、家財を焼失した方々は誠に困難の状態におかれています。この窮状が伝えられ各方面より温かい救援の手が差しのべられています。

宗門においても宗務当局、両本山よりもお見舞いが寄せられておりますが、我が曹青会におきましても、組織を上げて義捐金を募る活動に立ち上げられるよう、会員各位の力添えを切にお願いいたしたくここに長崎県曹青会会員一同を代表し要請致します。

合 掌

### 義捐金振り込み口座

九州銀行 長崎駅前支店

(〒850 長崎市大黒町9番22号)

店番号068

口座番号058235

受取り人名 長崎県曹洞宗青年会 会計、鉄山弘和

### お問い合わせ先

〒850

長崎県出来大工町4 光雲寺内 TEL (0958) 23-6362

長崎県曹青会会長 福田 光昭

## 協力のおお願い

九州曹青会では長崎曹青の活動を支援 協力しております。全国の皆様の御協力を御願い致します。

九州曹洞宗青年会 会長 村上 和 光

## 曹青通信編集部より お願い

お願い

曹青通信はこれまでに「我が曹青を語る」「此処に和尚あり」等、各単位曹青より様々な情報を掲載してまいりました。しかし、団体加盟も進み、各地より「我が曹青では今の様なユニークな事業に取り組んでいるのだが取り上げてくれないか?」とか「こういう出版事業を行って曹青はないのですか」という声も多々聞かれるようになって参りました。広報委員会として各地の活動を出来るだけ追って伝えようと努力は続けて居るのですが各単位曹青の活動も、より活性化してきつつある今、広報委員会だけではフォローできないのが現状です。それならば、取材活動の一方、曹青通信の紙上をより開放して各単位曹青の情報交換の場として使って戴ければと考えました。データベース、伝言板、どんな使い方も結構です。例えば「今度、我が〇〇曹青ではカレンダー開発したが、かなり良い物が出来たので他県にお分けしてもよいので連絡を待つ」でも「現在曹青の活動に於いて〇〇の理由で困っているのを知恵を拝借したい」でも「〇〇管区曹青では今度大きなイベントを行うので他地域の方も是非、ご参加下さい」等々、何でもかまいません。他の委員会とも連携してフォローすべきはフォローし、プッシュすべきはプッシュして全国の曹青会の活動の活性化の一助になることを願っています。

アクティブネットワーク曹青通信を目標に紙面を充実させ身近な情報をより役に立つ形でお届けしたいと考えています。皆様からの情報をお待ちしています。

連絡先  
宗務庁内全国曹洞宗青年会事務局  
広報委員会 又は 広報委員長宛

平成2年度事業報告

平成3年度 全国曹洞宗青年会事業計画

Table with 2 columns: Month (4月 to 3月) and Event/Meeting Name (e.g., 事務局会議, 総会, 曹青通信発行).

Table with 7 columns: Month, 事務局, 総合企画委員会, 事業委員会, 研修委員会, 組織委員会, 広報委員会. It details the schedule of various committees and events.

平成2年度 全国曹洞宗青年会歳入歳出決算書

平成3年度 全国曹洞宗青年会予算書

自 平成2年4月1日 至 平成3年3月31日

歳入合計 19,973,173円 歳出合計 18,218,973円 差引残高 1,716,200円 (繰越金)

自 平成3年4月1日 至 平成4年3月31日

歳入合計 19,000,000円 歳出合計 19,000,000円 差引残高 0円

Income Statement Table for Heisei 2. Columns: 科目, 項目, 予算額, 決算額, 増減, 備考.

Budget Table for Heisei 3. Columns: 科目, 項目, 本年度予算, 前年度予算, 増減, 備考.

Expenditure Statement Table for Heisei 2. Columns: 科目, 項目, 予算額, 決算額, 増減, 備考.

Budget Table for Heisei 3. Columns: 科目, 項目, 本年度予算, 前年度予算, 増減, 備考.